

知事定例記者会見

日 時 令和8年1月13日(火) 14:00～14:16

場 所 別館2階 記者会見室

(知事)

それでは私の方から本日の発表は1件でございます。

発表項目はカスハラゼロの静岡県へ！ということでございまして、現在大きな社会問題となっております、カスタマーハラスメントに対し、県では社会全体でのカスハラ防止を図るため、令和8年4月1日から「静岡県カスタマーハラスメント防止条例」を施行いたします。

条例の施行に先立ち、カスタマーハラスメント防止啓発のポスターを作成をいたしました。このポスターでは「御法度！カスハラ」というキャッチフレーズで、過度な要求、暴言、長時間の拘束、SNSへの投稿などを挙げ、注意を促しております。

またポスターには、「思いやりの心で GOOD コミュニケーション カスハラゼロの静岡県へ」というロゴマークを使用しており、顧客と就業者が互いに尊重し合い、良好なコミュニケーションを図ることでカスハラのない社会を目指す静岡県の姿勢を示しております。

このほか、リーフレットや啓発動画も順次作成するほか、条例施行後には、県におけるカスハラ相談体制の整備や、事業者がカスハラから就業者を守るための社内体制整備への支援などの取組を検討しております。

今後、こうしたカスタマーハラスメント防止の啓発や取り組みを通じ、県民全体でカスハラ防止への意識を高め、就業者が安心して働ける環境づくりを進めてまいります。私からは以上でございます。

(幹事社)

ただいまの知事の発表について質問のある社さんは挙手をお願いいたします。

特にないようですので、幹事社の日経新聞から幹事社質問をさせていただきます。ちょっと政治関連の話は、多分この後に聞くとしますので、事前に投げさせていただきます。まずは伺わせていただきます。

1つ目が中期財政計画と26年度予算の歳出・歳入計画に関してです。25年2月に県が中期財政計画を示して1年程になります。26年度の予算案に向けて県としての長期金利の見通しですとか、あるいは新発の債券を短期化するですとか、資金調達戦略があれば教えていただければと思います。それと物価上昇とあるいはその賃上げが続いていく中で、来年度の税収の上振れ等の可能性があれば教えていただければと思います。

その上で、中期財政計画で掲げた 26 年度のプライマリーバランス、基礎的財政収支の黒字と、県政残高の圧縮を堅持するか、その方針についても、伺えればと思います。

(知事)

はい、わかりました。

金利につきましてはですね、昨年の 12 月に政策金利引き上げられましたし、今後でもですね、金利の上昇局面ってのはですね、続いていくというふうに思っております。当然我々もその市場金利の動向等をですね、注視しながらですね、資金調達を行っていきたいと思います。

今のお話にあったようにですね、県債を短期限にして金利の上昇のですね、影響を抑えていくというようなことに取り組んでおりますが、今後もこうした手法などを用いまして公債費の圧縮に努めてまいりたいというふうに思います。

税収の上振れにつきましてはですね、今の予算の編成最中でございますので、確定的なことはお答えはできませんけれども、年末の地方財政対策の中でですね、5%程度の地方税収の上振れが見込まれておりますので、県としてもですね、いろんな企業さんとの聞き取りを含めましてですね、適切に今後税収をですね、算定をしていきたいというふうに思います。

それから中期財政計画の方針の件につきましてはですね、おっしゃられたようにプライマリーバランスの毎年度の黒字化とですね、県債残高 1000 億の削減という 2 つの中長期的な目標を掲げておりますので、当然、26 年度もですね、プライマリーバランスの黒字化等はですね、計上していきたいというふうに思っております。以上でございます。

(幹事社)

はい、ありがとうございます。

2 点目なんですけれども、静岡市が進める清水駅前新スタジアム構想に関して伺います。最有力地とされている清水駅前新スタジアム構想なんです。それに関して近く市が判断する見込みとなっております。広島市とか他の地域の事例では、政令市に加えて県が負担金を拠出する事例もありまして、一方で県の財政の立て直しが急がれる中ではありますが、県として新スタジアム構想への関わり方、方針等があれば伺えればと思います。

(知事)

はい。これからの施設開発につきましてはですね、私などもいつも申し上げておりますように、できるだけ民間のノウハウとか、民間投資を呼び込むことが重要だと

いうふうに申し上げておりますけれども、難波市長もですね、全く同じ考え方でございまして、このスタジアムを新設する場合にはですね、民間投資を最大限呼び込んでいくということも発表されておりますので、私もそれが最善の策だというふうに思っております。今のところ、県がですね、財政負担をする予定は、したがってございません。

(幹事社)

はい、ありがとうございます。

まず、ただいまの幹事社質問に関する知事の回答について、質問のある社さんは挙手のほど、よろしくお願いいたします。

ないようですので、その他の質問に移らせていただきます。その他の質問のある社さんは挙手のほど、よろしくお願いいたします。静岡朝日さんお願いします。

(記者)

静岡朝日テレビです。よろしくお願いいたします。高市総理が23日に召集される通常国会の冒頭で衆議院の解散を検討しているとの報道があります。

早期の選挙が行われることも想定されますが、こうした動きについての受け止めに教えてください。

(知事)

これは、解散権は総理の専権事項でございますので、私から何か申し上げることはございませんけれども、巷間言われるようにですね、通常国会冒頭での解散ということになりますと、かなり通常国会の日程がですね、厳しくなりますので、年度内の予算の成立が難しいんじゃないか等々、報道発表あるようにですね、そうなりますと国民生活に影響が出てきますので、そこはですね、しっかりと国民生活、我々にとっては県民生活に影響が出ないようにですね、配慮していただきたいというふうに思います。

(記者)

この解散の検討を受けて10日に総務省から県の選管に準備に向けた連絡があったかと思います。新年度の予算作りだったり物価高対策への対応等々業務も忙しい時期かとは思いますが、こうした自治体の負担についての心配事どんなことがありますでしょうか。

(知事)

これは選挙が実施をされるということであれば、我々はそれに対して対応してい

かなければいけませんので、当然今、予算編成とかですね、自治体非常に忙しい時期ではありますけれども、その中でしっかり対応していくつもりでございます。

(幹事社)

その他質問ある社さんは、挙手をお願いします。

(記者)

静岡新聞と申します。お世話になっております。中部電力の浜岡原発の不正なんですけども、既に地元の自治体から発表されてますけど、15日に社長さんが説明にみえられるというお話ですけども、静岡県に対しては、社長が訪問するというのを、水面下で調整したりとかですね、そういったことは今のところあるかというのが1点とですね、ここの中での中部電力の対応に関して、また国の対応に関して、所感が追加的にありましたら教えていただければと。

(知事)

特にその調整についてはですね、水面下で調整しているということはありません。対応につきましては、これからの第三者委員会でのですね、調査も始まりますし、明日、原子力規制委員会でのですね、発表があるやに聞いておりますので、しっかりそこを注視をしていきたいというふうに思いますし、まず基準地震動がですね、こういう形でデータの改ざんというかですね、あったと。ただこれ、いろいろ専門家のいろんな動向を聞きますと、改ざんというよりも、いろんなその、解釈の違い等もあるんで、そのところがですね、かなり専門的な話になってきますので、そこは早くですね、第三者委員会の方で、どうしてこういう状況になったのかということですね、会議をして報告をいただきたいなというふうに思っております。

(記者)

すいません、社長に早く静岡県庁に来て欲しいとかそういった、会長さんも含めてですね、そういう思いはございますか。

(知事)

私はまずはですね、しっかりと状況について、確認をして、それをですね、報告事項をちゃんと持った上で来ていただきたいなというふうには思います。国に対してもしっかり指導監督をするようにですね、今、申し入れをするような調整はですね、県として行っているところでございます。

(記者)

ありがとうございました。

(幹事社)

他、質問ある社さんいらっしゃいますでしょうか。

(記者)

NHKです。先ほどの解散の関連で追加でお伺いしたいんですけれども、政府の新年度予算の年度内成立が難しくなるんじゃないかという指摘もあるという中でですね、県の予算編成に具体的にどういった影響であったりですね、懸念が今後生じうるかというところの知事のご認識をお聞かせください。

(知事)

そうですね、今のところですね、暫定予算等ですね、組んでいただければ、何か実質的な影響っていうのはですね、ないのではないかと。ちょっともし細かいことがあればまた財政当局にご確認いただきたいと思いますけれども。従ってそういう影響が出ないようにしっかり国としてですね、選挙は選挙でございますので、ご配慮いただきたいと思いますというふうに思っております。

(記者)

関連してなんですけども、この時期に常会の冒頭に解散というこの報道に触れたときですね、知事の率直な受け止めだったりですね、あとその、解散の時期、この時期っていうところで、それが適切なのかとかですね、どういった時期に解散が判断されると、あの時期の方ですね、判断されるといいのかっていうところなんかはですね、どのようにお考えでしょうか。

(知事)

これはまさに総理がお決めになることでございますので、私からそれについて論評することはございませんけれども、冒頭解散ってのは今まで一例しかございませんので、正直あるとすれば、常識的にはですね、予算の成立後か、あるいは通常国会が終わる時期とかですね、そういうところが想定されてたので、少しびっくりしたというのは率直な感想でございます。

(幹事社)

他、質問ある社さん、お願いします。

(記者)

中日新聞です。よろしくお願いします。すいません、ちょっと話題がコロッと変わるんですけども、三重県が、県の職員の採用で国籍条項の国籍要件を復活させるってことを検討しているそうなんですけれども、静岡県では一部保健師だとか看護師だとか国籍要件というのはないですけれども、その現状を変更されるような予定があるかどうかというのを教えてください。

(知事)

県の場合は公権力の行使に当たるようなところはですね、国籍の要件を設けてますけれども、それ以外は特に国籍要件を設けておりません。その方針はですね、変えるつもりはございません。

(記者)

わかりました。三重県が復活させるというような、そういう検討をしていることについて、知事はどのように受け止めているかを教えてください。

(知事)

これは、三重県さんのご判断ですし、それぞれの県ですね、ご事情もあろうかと思いますので、私から特に申し上げることはございません。

(記者)

あとすいません、もう1点追加で知事は多文化共生が重要だということをおっしゃっていますけれども、逆に静岡県で、この国籍の要件っていうのを撤廃をする範囲を広げるようなお考えっていうのはありますでしょうか。

(知事)

今のところですね、特に何か支障があるわけではございませんので、特に今の状況、要件をですね、変えるということは今のところ考えておりません。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

その他、質問があります社さん、いらっしゃいますでしょうか。
すいません、幹事社から衆院解散報道に関して、追加でお伺いさせていただきたいんですけれども、先ほどあの国への、国というか政権への要望として、国民生活

への影響は少なくしてほしいと。特に地方の場合は国からの補助金等もあると思いますが、一方で今回の解散総選挙に関して、知事の個人的な見通しでも構わないんですけれども、争点になるとしたらこういったところが、今回の総選挙においては争点になるとお考えなのか、もしあれば伺ってもよろしいでしょうか。

(知事)

特に私の方から争点設定するのは、私は解散するわけでもございませんので、何か、私から推測して選挙の争点をですね、申し上げることはありません。それに関しては、もし高市総理がですね、解散に踏み切るのであれば、おそらくその解散のときに総理からですね、争点についてのね、ご説明があるんじゃないかなというふうに思います。

(幹事社)

ありがとうございます。

関連して仮に衆院解散総選挙が行われるとなった場合に、知事として、国政議員にも広い繋がりがあると思いますが、そういった選挙への、例えば演説への協力であったりですとか、そういった活動をされるご予定などは現時点であるのでしょうか。

(知事)

まだ解散があるかどうか、解散があるんじゃないかとは言われてますけども、解散ということがですね、決定したわけじゃありませんので、今の時点で何も決めてはおりません。

(幹事社)

はい、ありがとうございます。

その他の質問のある社さん、いらっしゃいますでしょうか。

(記者)

SBSテレビです。お願いします。先ほど中電の浜岡原発に関連した動きで、中電への指導監督のことを、国への申し入れの準備を進めているということでしたが、それは時期ですとか、あと知事自身が行かれるのかとか、そういった部分はいかがでしょうか。

(知事)

私が直接しかるべき方に申し上げるつもりではございますので、今、その調整に入っているというところでございます。

(記者)

時期は第三者委員会の報告を受ける前にはもう、早い段階で。

(知事)

できるだけ早くとは思っておりますが、お相手があることなので相手の今、日程との調整をですね、今しているところでございますので、まだ日付はですね、確定はしておりません。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

はい、その他質問のある社さん、いらっしゃいますでしょうか。
よろしいですかね。ではないようですので、こちらで定例会見を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(知事)

どうもありがとうございました。